

近畿学校保健学会通信

№ 19

昭和46年4月10日

第18回近畿学校保健学会事務局

(657) 神戸市灘区鶴甲3丁目11

神戸大学教育学部教育衛生学教室

電話 神戸(078) 87-5131 内線2961

振替口座番号 神戸 42681

第18回近畿学校保健学会の企画について

第18回近畿学校保健学会々長

佐守信男

思えば、ここ神戸六甲の山ふところで、12年前に第6回日本学校保健学会と第6回近畿学校保健学会をお世話させていただき、6年前に第12回近畿学校保健学会を開かせていただきました。年がめぐり来て、今年もまた、第18回近畿学校保健学会を、お世話させていただくことになりました。もとより浅学菲才の私たちのこととて、従来同様、今年も、学校保健関係のみなさんのご協力によりまして、少しでも近畿のみなさんに有意義な学会にしたいと存じておりますので、どうか、宜しくご協力ご援助くださいますようお願いいたします。

今年の秋は、大阪で、第18回日本学校保健学会が開催されます。それで、学会としては、ちょっと型破りな企画になるかもしれませんが、先きの3月10日に第1回の幹事会を開いていただきまして、次のような企画をたてさせていただきました。

開催日は、夏もたけなわな8月25日(水)で、場所は神戸大学教育学部の新しい学舎でございます。もちろん、表六甲ドライブウェイにかかる場所ですので、少しは涼しいと存じますが、会場はとくに冷房の用意をさせていただきます。

企画内容といたしましては、一般講演はすべて秋の大阪での全国学会におゆずりして、近畿学校保健学会では、特別講演ばかりを6題もつ予定でございます。

演者は、近畿地区以外の方々と、学校保健については全国で第一人者と考えられる方々を6人お招きいたします。この6人は、近畿地区の学校保健関係者のみなさんによって選んでいただきます。この学会通信にアンケート用紙を添付してございますが、それは、このためでございます。

6人の演者の決め方は、もちろん、みなさんのアンケートによるご希望をもとにするものでございますが、人を選ぶと申しまして、それにより主題がおのずから定まりますので、事務局としても、主題がかたよらないように種々な案を検討しておきまして、イチゴミルクの候の5月に、第2回の幹事会をもたせていただき、この幹事会で6人の演者を決定させていただきます。

そして、学会当日は、6人の演者にそれぞれ1時間の持ち時間が約束されます。まず、25分間前

後の独自の蘊蓄ある専門分野のお話を聞かせていただきます。司会は、近畿地区の当該専門分野の方にいただき、講演ののち約30分間、この講演に対して、参加された近畿地区のみなさんから質疑、ご討論、ご意見の交換をしていただき、演者とともに問題を深めていただきます。おそらく、学校保健に関する異なった6つの専門分野からのアプローチがあると考えられますし、また、そのように企画しようと存じますので、現下の問題多き学校保健の解決と方途を、全国の第一人者の個性豊かな主張をもとに、学問的な高さで、あるいは、現場に直結した方向で、深められると考えられます。

学会長の私といたしましては、それぞれ1時間の持ち時間ですので、せっかちに、6つの問題に対して、結論を出していただくとは考えておりません。近畿地区の学校保健関係者のみなさんが、自らで希望された第一人者の今まで集積された貴重なご研究やご主張をお聞きし、その上に立って討議されることによって、おひとりおひとりの心の中で、学校保健のこれからの新しい展開のもとになる素材を、いかような形においても、得て、帰られましたら、どんなにうれしいことかと存じております。それが、近畿地区の学校保健の新しい出発を生むひとりひとりのみなさんの契機になればと考えております。

それから、せっかく、全国各地からおいでいただいた6人の方々ですので、夕方からの6人の方々を囲んで、神戸の百万夜景をながめながら、学会参加者のみなさんとともに、なごやかに明日の学校保健を語る懇親会を開くことも考えております。

以上が、第18回近畿学校保健学会の企画のあらましであります。すでにおわかりくださいましたように、企画そのものが、みなさんのお知恵とご希望を聞かねばならなくなっておりますし、学会当日もまた、みなさんによるご討議によりまして、この企画は、生きもし死にもするようになっておりますので、どうぞ、この第18回近畿学校保健学会が、学校保健の明日への扉を開く有意義な学会になりますように、みなさんのご協力を重ねてお願いいたします。 (神戸大学教育学部 教授)

第18回近畿学校保健学会開催要項

1. 会 長 佐守信男 (神戸大学教授)
2. 事務局 神戸大学教育学部教育衛生学教室 (事務局長 武田真太郎)
3. 開催月日 昭和46年8月25日 (水)
4. 会 場 神戸大学教育学部 (神戸市灘区鶴甲3丁目11)
5. 企画の概要 ◇一般講演は受け付けません。発表予定の方は、今秋、大阪で開催される日本学校保健学会へご提出下さい。
◇特別講演を6題もつ予定です。演者はみなさんのご推薦をもとに決定いたします。
◇講演集、参加費、懇親会の詳細については、次号でご案内します。

＊特別講演の演者推薦についてのお願ひ＊

本号の会長挨拶で述べておりますように、今回の特別講演の演者はみなさんに選んでいただきます。添付しました推薦用ハガキを用いて、ご希望の演者名をご記入のうえ学会事務局までお知らせ下さい。多数の方がご回答下さいますよう願います。

締切期日は、5月20日です。

なお、決定された特別講演の演者名は、次号の学会通信に発表する予定です。

第18回近畿学校保健学会幹事名簿（昭和46年3月20日現在）

安 藤 格 （大阪教育大）	石 井 一 （兵庫県教委）
伊 藤 祐 一 （大阪教育大）	今 井 英 夫 （大阪教育大）
今 出 悦 子 （神戸大附属校）	巨 田 泰 信 （兵庫県教委）
大 西 純 二 （神戸市教委）	片 岡 慶 有 （滋賀県医師会）
川 畑 愛 義 （京都府衛研）	川 口 宏 （和歌山県教委）
川 口 吉 雄 （和歌山県教委）	上 林 久 雄 （大阪教育大）
国 森 良 信 （神戸市教委）	近 藤 文 子 （神戸市養教部会）
佐 守 信 男 （神戸大 教育）	白 川 充 （和歌山医大）
武 田 真太郎 （神戸大 教育）	竹 村 一 （芦屋大学）
詫 間 晋 平 （大阪教育大）	橘 重 美 （天理大 体育）
谷 口 正 （滋賀県医師会）	塚 本 利 之 （神戸大 医）
出 口 庄 祐 （阪大医療技術短大）	戸 田 嘉 秋 （神戸大 医）
富 崎 極 （神戸市教委）	永 井 豊太郎 （天理大 体育）
中牟田 正 幸 （奈良教育大）	中 元 藤 茂 （和歌山大教育）
西 田 義 文 （京都市学校医会）	丹 羽 正 （神戸大 教育）
富 士 貞 吉 （常盤会短大）	長谷川 等 （大阪府学校保健会）
藤 下 成 周 （大阪教育大）	細 井 毅 （滋賀大教育）
細 部 新一郎 （大阪市薬剤師会）	松 浦 義 行 （京都大 教養）
宮 田 尚 之 （京都大保健管理センター）	山 岡 誠 一 （京都教育大）
山 本 勝 郎 （大阪市大 家政）	吉 村 恵 江 （兵庫県教委）
横 尾 能 範 （神戸大 教育）	米 田 幸 雄 （京都教育大）

（五十音順）

第17回近畿学校保健学会を終えて

第17回近畿学校保健学会々長

米田幸雄

昨秋、京都教育大学で開催された第17回近畿学校保健学会の残務の整理を終え、次期会長の佐守教授へ事務を引き継ぎましたのを機会に御礼と御挨拶を申し上げます。

回顧すれば、学会当日、近畿一円から、約300名の会員が一堂に参集し、研究発表、シンポジウム、総会、特別講演などが盛会裡に行われ、本学会の目的を十分に達成することができました。このことは偏に、幹事、評議員の先生方の適切な御指導によるものと深く感謝の意を表する次第でございます。また、プログラム、学会案内、学会通信などの配布の実務に御協力下さいました先生方の御尽力もまた、あずかって大きいと厚く御礼申し上げます。

学会の事業実施状況と収支決算とともに、参加者を府県別・所属別に分類した表を本通信に掲げました。本学会の今後の運営や発展をはかる資料となれば幸甚に存じます。

文末になりましたが多額の補助金を頂いた京都府市教育委員会、賛助金を頂いた関係諸会社に厚く御礼を申し上げます。

以上、書面をもって申し上げるべきであります。本学会通信をかりてこれに替えさせて頂きました。

(京都教育大学 教授)

第17回近畿学校保健学会事業実施状況報告

年 月 日	事 業 実 施 状 況
S 45. 2. 3	学会準備会(於京都大教養部) 第17回大会を9月6日(日)に京都教育大学において開催することに決定した。
3. 30	第1回幹事会(於京都教育大) 学会開催要項、とくに特別講演、シンポジウムのテーマを検討する。第16回大会々長白川充教授(和歌山医大)と事務引き継ぎを行なった。
4. 23	幹事、評議員の委嘱状発送など、大会運営にあたる実際の活動を開始した。
5. 9	第2回常任幹事会(於京都教育大) 運営費などの討議を行なった。
5. 16	第3回幹事会(於京都教育大) 特別講演、シンポジウムとともに性教育をテーマに取りあげることに決定した。
	学会案内を関係機関に配送した。
6. 10	学会通信第17を関係機関に配送した。
6. 30	一般講演の演題申し込み26題をもってメ切った。
8. 21	第4回幹事会(於京都教育大) 第17回大会評議員会議案について検討した。
8. 25	学会プログラムを関係機関に配送した。
9. 5	学会通信第18、学会抄録集他作成完了し、大会当日に参加者に配布するよう準備した。
9. 6	第17回大会を開催、好天に恵まれて約300名(別表のとおり)の参加をえて盛会のうちに午後5時すぎ閉会した。なお、当日正午より評議員会ならびに総会を開催した。また、大会終了後、約

- 20名の参加で懇親会を学生会館ホールにて行なった。
10. 3 第5回幹事会(於京都教育大) 第18回大会は神戸大学、佐守信男教授のもとで来秋に神戸市で開催されることに決定した。
- S 46. 3. 10 第18回大会々長、佐守信男教授と事務引き継ぎを行なった。

第17回近畿学校保健学会収支決算報告 (昭和45年10月8日現在)

収 入 の 部

項 目	収 入 額	摘 要
参 加 費	163,900	一般参加費 @300 @500 評議員参加費@800 計302人分
京 都 府 金	100,000	
京 都 市 金	100,000	
雑 収 入	142,500	京美堂他18社の広告料
合 計	506,400	

支 出 の 部

項 目	支 出 額	摘 要
謝 金	20,000	特別講演料
旅 費	43,100	特別講演・シンポジウム 講師車代
賃 金	110,600	準備・当日アルバイト代
消耗品費	35,570	文具その他
補 食 費	34,099	幹事会・評議員会他茶菓 代
印刷製本費	188,670	委嘱状・学会案内・プロ グラム・学会通信・抄録 集他
通信運搬費	60,631	郵送料・電話・タクシー 代他
会 場 費	13,600	会場・器具借用料
合 計	506,400	

第17回近畿学校保健学会参加者数

(府県・所属別内訳)

府 県 所 属	京 都 府	大 阪 府	兵 庫 県	和 歌 山 県	滋 賀 県	奈 良 県	計(%)
教育委員会	7	2	6	-	1	-	14(4.8)
大 学	15	15	3	3	2	3	43(14.9)
医 師 会	5	10	-	5	6	2	28(9.7)
薬剤師会	6	1	-	-	-	-	7(2.4)
幼稚園	1	1	3	-	-	-	5(1.4)
小 学 校	41	27	11	5	8	5	97(33.6)
中 学 校	28	11	5	3	4	-	51(17.6)
高等学校	15	10	3	3	2	-	23(8.0)
来 賓	8	3	-	-	-	-	11(3.8)
合 計 (%)	126 (43.5)	80 (27.7)	31 (10.7)	19 (6.6)	23 (8.0)	10 (3.5)	289

(京都府下の職種・学校別内訳)

校 種 職 種	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	計 (%)
京都市 養護教諭	14	11	5	30 (50.0)
京都市 その他	2	2	8	12
京都府 養護教諭	20	15	1	36 (50.0)
京都府 その他	5	0	1	6
合 計 養護教諭 (%)	34 (51.5)	26 (39.4)	6 (9.1)	66 (78.5)
計 その他 (%)	7 (38.9)	2 (11.1)	9 (50.0)	18 (21.5)

事 務 局 記 事

1. 第1回地元幹事会 昭和45年12月13日 於神戸大学教育学部佐守研究室

兵庫県内の幹事により、第18回総会の企画、組織、運営について、第1回幹事会への提出原案の検討を行った。

2. 第1回幹事会 昭和46年3月10日 於神戸大学教育学部大会議室

議事 ・組織、運営、予算について 幹事会の構成については別掲名簿の通りに決定した。なお、各府県の事情により3月25日まで追加申込の受付を行なうことにした。学会事務局は神戸大学教育学部教育衛生学教室で担当することになった。予算については概算60万円が見込まれるが、不確定要素があるので、詳細は次回に検討することになった。

・総会の日程及び企画について 別掲の開催要項の通りに決定した。なお特別講演の演者の人選については、近畿6府県の公立小、中、高校総計4136校をはじめ関係諸機関からの推薦をもとにすることになった。

3. 第2回幹事会 5月下旬 神戸大学教育学部に於て開催の予定。

議題 ・特別講演の演者並びに司会者について

・講演集の企画について

・予算について

・評議員の委嘱について

・その他